

No2437

金華山(328.8m)、三方岩岳(1736m)

2014年10月25日(土) 晴れ

参加者：鳴原L 高石 山城

25日(土)新大阪8:00出発。鳴原さんのテント山行にしては珍しく朝出である。戦国時代の核心地域で在った岐阜城がそびえる金華山には興味もありぶらっと行って見たかった。高速道は関ヶ原ICで降りR21に入ると、そこかしこに関ヶ原合戦時の武将の本陣址が標示されている。金華山は岐阜市のシンボリックなランドマークになっている。その岐阜公園は広大でロープウェイもあるが山頂の岐阜城までは自力登りになる。

幾つかのルートがあるらしいが『瞑想の小道』から『馬の背』を行く。ここは岩登りコースです。きつい傾斜がずうっと続きます。案内所のおじちゃん曰く「30分で着く！」は無理です！私達の前後を登るヤングペアも「何処が30分や！」お城は未だ見えないのに座り込んでいた。

山頂は完全な岩山で、城はその岩上に建っていた。よくもまあ建てたもんだと仰ぎ見る。眼下にはゆるやかに流れる長良川をはさんで、岐阜市街の町並みが広がる。緑の小山が幾つも点在しまるで箱庭のごとき一望である。



(金華山からの長良川1)



(金華山・稲葉山城)



(金華山からの長良川2)

北東に乗鞍岳、御嶽山(今日は見えなかったが)冬期には槍ヶ岳、笠ヶ岳と望めるらしい。標高は低いのだが岩山登りが楽しめるのでそれなりの方達も多いそうだ。

下山は『瞑想の小道』となっているが瞑想しての下山はととてもとても出来そうに無い山道なのです。分岐からは谷沿いの道を下り城の水源に納得しつつ公園の登山口に降り立った。

幼児や児童を連れたヤングファミリーが目立ったが、中には乳児を抱えた若いママにすれ違い他人事だが気になった。

【 駐車場 11:00 → 公園 11:10 → 登山口 11:35 → 12:15 山頂 13:10 → 下山口 14:00 →

駐車場 14:30 】

鳴原氏いわく「こんな持ってこいの山が家の近くにあってええなあ毎日登るわ～」同感。ドライブです。R156～紅葉の『ひるがの公園』を走り抜けて高山市に(16:10)R158～みほろ湖の銘木『荘川桜』(16:30)～R156『道の駅、飛騨・白山』今日のテン場です(16:55)。

暗くなってからキャンピングカー数台と他に7台ほどが駐車していた。満天の星空でした。

21:10 就寝

(記 山城)

26日(日)晴れ 三方岩岳(1,736m) 往復

今日一番の楽しみは、白山スーパー林道の紅葉狩りだ！ 朝食を満腹になるほど食し、テント撤収。朝露も降りてなくスムーズに撤収できた。スーパー林道は8時開門とのこと。待つつもりで7時に出発する。道中の紅葉も素晴らしい！ 7時半到着。

すでに5～6台の車が並んでいて後ろにどんどん車が増えていく。それを見た係りの人が10分早く開門してくれた。

8:10 三方岩駐車場(標高1,450m)着。 8:20 楽々ハイキング開始。所々ぬかるんだ場所があるが、だらだらとした緩やかな登りが頂上まで続く。ハイマツ帯を過ぎ9:05 山頂着。

頂上には既に20人近くの人が白山はじめ北アルプスの山並に見入っていました。剣岳や槍・穂高連峰は私にも解りました。労せずしてこんな眺めを満喫できるなんてなんと幸せな……

9:45 下山開始。下山中もどんどん登山者が登ってくる。見下ろすと駐車場は、満杯。10:16 駐車場着。ぬかるみでドロドロになった靴を洗い、早々に出発。その頃には、石川県側からも車がどんどんはいつてくる。これからが。今回のハイライトの始まり。次々と現れる切り立った岩壁にへばりつくような見事な紅葉。見ごたえのある様々な形状の大滝、なめ滝。ビュースポットには駐車場も完備しているが、どこも満杯で停車すらできない。それでもスピードを出している車はないので。車窓からでも十分錦秋を満喫できた。

鯖江にて遅い昼食を済ませ、帰路に着く。途中2か所ほど渋滞したものの、ノロノロとは動いていたのでそう遅れることなく、18:30 帰宅できました。

今回の例会は私にとって一石三鳥の楽しい例会でした。リーダー、長距離運転お疲れ様、そして有難うございました。山城さんお世話になりました。

(記 高石)



(三方岩岳頂上)



(スーパー林道の紅葉1)



(スーパー林道の紅葉2)